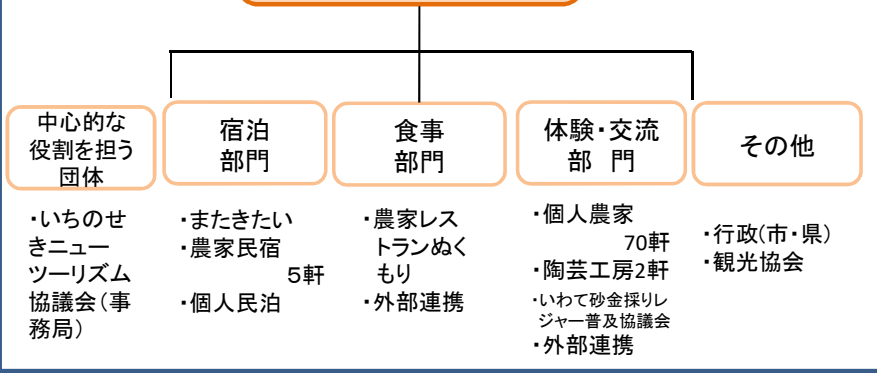


- 教育旅行受け入れに偏重したツーリズムからの脱却。
- 個人農家がそれぞれの提供を望んでいる体験内容に幅広く対応できる多様な集客。
- 協議会が運営する体験宿泊施設による収益確保と、地域モデルの確立。



【実施体制】

いちのせきニュー
ツーリズム協議会
(事業実施主体)



【取組内容】

- 農泊推進事業 (H30～H31)
 - 農泊推進のための実施主体の体制整備に係る事業
 - 民泊事業
 - 体験プログラム造成展開事業
 - 飲食業連携事業
 - 販売推進事業
 - ICT活用ワークショップの開催
 - 協議会HPとパンフレットの作成
- 人材活用事業 (H30～H31)

地域外の人材を活用し研修生を配置し事業の推進

【採択年度】
平成30年度

【事業実施期間】
平成30～31年度

【特徴的な取組】

- 協議会直営で住宅宿泊事業法による民泊施設を開業
- 築50年弱の民家を活用。様々な体験もできる宿として運営。
- 地域の農家・農家民宿と連携した誘客を図る。



農業体験

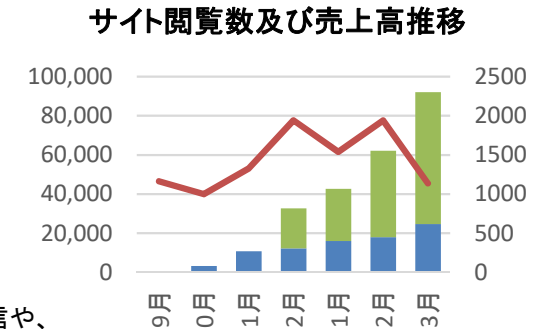
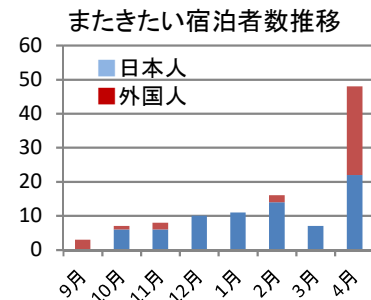


砂金取り体験



Facebookページ

※活動状況が一目でわかる写真を添付



研修生によるSNSを使った情報発信や、施設チラシ作成、配布を地道に行った結果、4月、5月の予約が多数入り、上の図が示す通り、次年度の宿泊者数を大幅に伸ばすことができた。台湾からのモニターゲストに情報を発信してもらうなどの取り組みの結果、大型連休中の宿泊予約の半数が台湾からとなった。

また、体験型施設としてピザ焼き、バーベキュー、ヤギとのふれあい体験、はっと汁体験、もちつき体験、スラックラインなどアウトドアや郷土料理を中心とした様々な体験メニューを用意、提携農家や飲食店と連携することにより12のイベントを開催し地域との交流を図り、地域に溶け込んだ施設とすることができた。

インバウンド対応状況 (青：対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約